

◆暮らしサポート サポート・ワン◆訪問介護
 ナイス・ケア◆通所介護ナイス・デイ◆小規模
 多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料
 老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介つしま紹
 介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひ
 ら◆鍼灸てのひら治療院 ◆酸素BOX



vol. 265通信
 R4年9月7日発行

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
 愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036
 代表TEL：(0567) 26-3921
 FAX：(0567) 26-3922
 ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

介護スタッフ、登録家政婦、看護師大募集♪

奇跡の回復力／愛宕の家

Aさんは、ご主人を愛宕の家で最期まで看させていただいた経緯もあり、Aさんが元気な頃からの長いお付き合いになります。3年半前程に入居され、デイサービスを楽しみにしてみえましたが、身体の衰えや認知症の進行などによりお休みすることになりました。精神状態や体調が不安定となり、色々な要因が重なり、褥瘡が悪化したときは、看護師がもう限界かもしれないと感じた程です。それでも丁寧にケアを行い、なんと完治！でも、褥瘡が完治しても、体調が少しずつ安定しても・・・なかなか以前のように動くことは難しいと考えていました。ですが、そんな心配は杞憂に終わりました。車いすでこそあれ、以前のような元気な矍鑠としたAさんは健在です。そして、今月よりデイサービス再開しました！

その他にも、Aさんの所作はとても綺麗です。姿勢よく膝をそろえて座る、湯呑を両手で持ってお茶を飲む、器を持って食事をする等々、基本的な所作は、普段から丁寧に生きてみえた証なのだと思います。今年94歳を迎えられました。Aさんの言動に一喜一憂、元気ももらっています。見習いたいものです。(K・T)

笑って過ごせる／ナイス・ホーム

「すぐ忘れちゃうから・・・」と、最近すごく気にしてみえるNさん。Nさんは、一人暮らし。数年前に転倒し、骨折。一人、自宅で過ごす事が難しいため、泊まりを利用してみえた時もありました。が、見事復活して、今はまた、在宅生活を送って見えます。

お一人で買い物にも行けるようになり、洗濯、ゴミ出しなど、家事もこなされるようになりました。ただ、『忘れてしまうこと』が今は気になるようです。『忘れてしまう』ということは、いろいろな事が不安になるかと想像します。

Nさんには、以前から、自宅にみえる時間帯(朝・夕)に電話対応を行っています。はじめは安否確認のためでしたが、いつの間にか、その電話が生活リズムの一つになり、その時に、お話しをすることで、『忘れていた事』や『不安』を教えてもらえ、それが、心の安定に繋がって見えるのではないかと期待します。

Nさんは、いつも笑顔で「また忘れちゃった」と言われます。そう笑って言える関係性や空気感を大事にして、これからもお付き合いをしていきたいと思っています。(Y・O)

問合わせ・見学 大歓迎！！

《利用状況案内板(☆募集中★満員)》

☆ナイス・ケア(訪問介護/介護保険)
 ☆ナイス・デイ(通所介護/定員10名)

月	火	水	木	金	土
6	5	6	6	5	5

☆ナイス・ホーム(定員17名、現在登録者17名)

☆愛宕の家(定員17名中入居者14人)

☆つしま紹介所(有料職業紹介)

☆サポート・ワン(在宅ヘルパー/自費)

《9月行事予定》

20日 避難訓練
 運営推進会議(書面)
 ナイス・デイ
 ナイス・ホーム

※少しずつ外出等は行っていますが、新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、密になる行事は自粛しています。

※今後の行事予定も状況に合わせて変更する可能性があります。ご了承下さい。

《営業お知らせ》

喫茶てのひら 8/15(火)より通常営業
 営業日：月・火・木・金・土・日/水曜定休
 時間：9:00-12:30(モーニング営業のみ)
 ※入店制限(10名まで等)あり

酸素BOX

営業日：月・火・木・金・土/水日定休
 時間：9:00-17:00 完全予約制

鍼灸てのひら治療院

営業日：月・金・土(隔週)/完全予約制

※細々と再開中

★コロナ禍により営業休止★

・打太鼓(和太鼓)・コーラス
 ・ナイス・キッズ(学童・託児)
 ~詳細はお問い合わせ下さい~



「私はじーっとしている事が出来ない性分なの」
 いつものAさんの口癖です。古新聞でゴミ袋を作ってくれました

敬老のお祝いを津島市から頂きました。ご長寿おめでとうございます。これからもよろしく願いますね♪



ラジオ体操第一／ナイス・デイ

夏休み恒例の行事と言えば、「ラジオ体操」。いつもの体操に加えて、帰り際にも身体を動かしてもらおうと試みました。

ラジオ体操のCDを流すと、いつもは「やりたくない！いや！」と言われる利用者さんまでもが、音楽を聞くと自然に身体を動かされる瞬間を目撃しました。不思議！？ある意味感動。

安全のため座ったまま手足を動かしてもらうよう声をかけると、後は、音楽に合わせて皆さんの身体は動きだします。

途中、跳躍する流れのポイントでは、立ち上がり、今にもジャンプの姿勢をとられる姿を見た時には思わず大声で止めました(笑)

「体操しま〜す」「身体を動かします」と声をかける事よりも、ラジオ体操の音楽をかける方が、自然に身体を動かす事ができると感じました。

体操やレクリエーションの試行錯誤も必要ですが、馴染みのある音楽や身体の動きを上手く取り入れる事で、積極的に運動が出来るのかもれませぬ。(H・O)



入浴介助の効果／ナイス・ケア

この夏、99歳を迎えられた愛宕の家に入居してみえるAさん。1年前はシルバーカーを押し、自分の足で歩き、デイサービスや訪問サービスを利用して見えました。



1年前の夏、お誕生日の直前に倒れ、ベッド上の生活へと一変。現在も声かけに返答はなく、身体に力が入らない状態が続いています。Aさんの生活の中で、とても気持ちよさそうな表情を見せてくださる時があります。それは入浴です。湯舟に入って、その表情をされると、「あ〜お風呂に入ってもらえる事が出来て良かった」と感じます。しかし、身体に力が入らず、ちょっとふくよかなAさんをヘルパー1人で入浴に入ってもらえるのは大変です。危険も伴います。そのため、ヘルパー2人で介助を行う事でAさんの浴槽の出入りや洗髪、洗身が安全に出来、また、補助

がある事でヘルパーの気持ちに余裕が生まれ、身体状況の変化にもより気を配る事が出来ると感じています。入浴をする事で内臓も含め、全身が温まりリラックスできる事が状態の安定に繋がる一因になっているのではないかと密かに思っています。これからも2人介助でお風呂に入ってもらい、全身の健康管理に繋がっていきたくと思っています。(K・N)

《編集後記》

9月1日は防災の日。先日の大きな台風のニュースで避難指示の字幕を見ながら、自宅内を見回してみました。非常食や懐中電灯など、必要な準備を我が家はしていません・・・。皆さんはどうですか？

お薬やお薬手帳などもさっと持ち出せるように準備できていると安心かもしれませんね。(Y・O)



SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。

9月の発送部数 105部